

注意が必要な動植物

野外活動に出かける前に、注意が必要な植物を紹介します。特に、触れるとかぶれをおこすウルシ類などは、注意が必要です。**これらの植物を見かけたら、必要以上に近づかないようにしてください。**
※詳細は、サービスセンター受付でお貸し出ししている参考図書・図鑑を参照してください。

植物

触れるとかぶれるもの

葉や茎に触れると、かぶれる可能性がある植物です。どの程度触れるとかぶれるかは人によって差がありますが、葉に触れる程度なら平気な人もいれば、木の下を通っただけでもかぶれてしまう敏感な人もいます。



ヤマウルシ

【特徴】葉は楕円形で、葉柄は赤みを帯びていることが多い。葉の表面や葉柄には、細かな毛が生えている。羽状複葉という、小さな葉が集まって一枚の葉を構成す

特徴的な葉の形をしている。羽状複葉の葉を見たらまず「ウルシでは？」と疑ってみることが必要。



ツタウルシ

【特徴】ウルシ類の中で最もかぶれやすいとされるのがツタウルシである。名前の通り、ツタのように伸びるツル植物で、山間の木の幹や岩に巻き付いていることが多い。葉は三出複葉と呼ばれる形で、三枚の葉がワンセットになった特徴的な形をしている。

その他：ヌルデ、ハゼノキ

食中毒を起こすもの

以下に紹介するものは毒性が強く、食中毒を起こす可能性があるものです。しかし、毒性の強弱にかかわらず、野草を食用することは危険が伴います。これらの植物を誤って口にする事のないように注意してください。
ドクゼリ、アセビ、マムシグサ、キノコ類

動物

野外には毒を持つ昆虫など、人にとって危険な生き物もいます。安全な野外活動を行うためには、これらの生き物の生息場所となる**草むらの中にむやみに入らないようにしてください。**また、野外でこれらの動物に出会っても、**必要以上に近づいたり、追い払おうとしたり、こちらから攻撃しないようにしてください。**
※詳細は、サービスセンター受付でお貸し出ししている参考図書・図鑑を参照してください。

毒をもつ動物

以下に紹介する動物は、かまれたり、刺されたりすると危険な動物です。活動中はこれらの動物を見かけても、むやみに触れたりしないように気をつけてください。

スズメバチやミツバチなどのハチ類、マムシやヤマカガシなどの毒ヘビ、ムカデ、毛虫